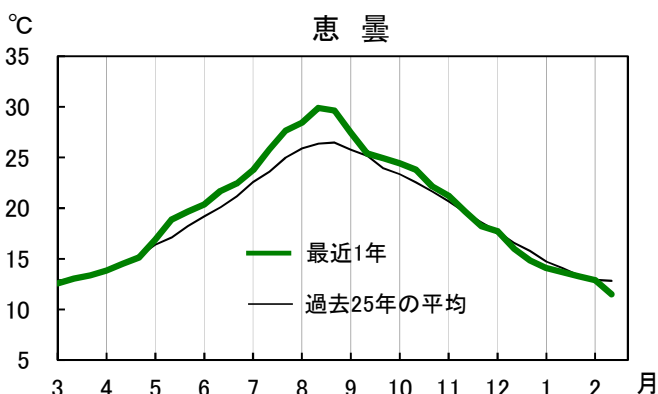
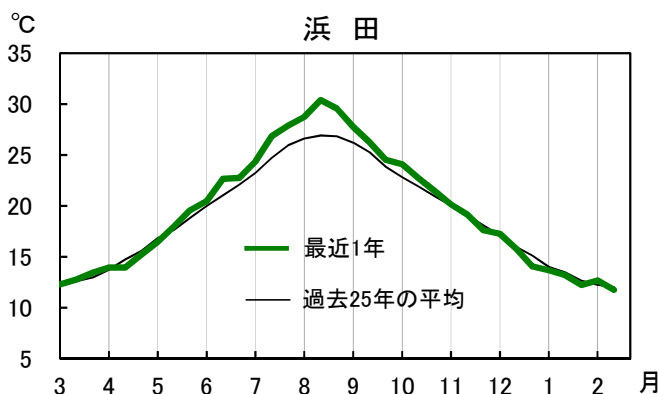




《1～2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.0℃	-0.3℃	平年並み
恵曇	13.6℃	-0.3℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では1月は上・中旬は「平年並み」でしたが、1月下旬が「やや低め」、2月上旬が「やや高め」と大きく変動し、2月中旬は「平年並み」で経過しています。一方、恵曇地区では1月は上旬が「やや低め」で、中旬以降～2月上旬まで「平年並み」で推移しましたが、2月中旬は一気に「はなはだ低め」に転じました。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。主要魚種であるサバ類、マアジはそれぞれ平年の8割となりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではサバ類、マアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。浦郷地区ではサバ類、マアジがそれぞれ1.5倍となり、西郷地区ではサバ類、マアジが不漁だったものの、ブリがそれを補うほどの水揚げとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）のみの漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は2.2トンで平年を上回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の98%）が主体で、ソデイカ（全体の5%）も漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は61kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではソウハチ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は平年並みでした。ソウハチは魚がまとまり、平年の2.2倍の水揚げがありました。また、アカムツは小型サイズを主体に平年の1.5倍の水揚げがありました。一方、ムシガレイ、キダイ、アナゴ類は平年の8割の水揚げに留まり、やや低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともにソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は平年比75%～90%と低調に推移しました。和江地区では、ソウハチ、ヒレグロは平年の6～8割の水揚げに留まりました。久手地区では、ソウハチは平年の6割の水揚げに留まりましたが、ニギスは平年並みで推移しました。両地区とも寒気による時化の影響で低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統当りではマアジとサバ類が過去5年間で最大の漁獲量となり、その他の魚種も概ね好調だったため全統の総漁獲量は平年を上回りました。出雲地区ではサワラ類、ブリ、サンマ主体の漁況で、1統当りではサワラ類、サンマがそれぞれ平年の2倍、3倍だったものの、例年主体となるブリ、マアジがそれぞれ3割、6割であったため全統の総漁獲量は平年を下回りました。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当りではマアジが平年の1.4倍だったものの、スルメイカが6割であったため全統の総漁獲量は平年並みとなりました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は59kgで平年を上回りました。石見地区ではサワラ類、ブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は36kgで平年を上回りました。隠岐地区ではメダイ、クロマグロ（ヨコワ）、ブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は28kgで平年を下回りました。全地区で漁獲の主体になっているブリは、いずれの地区でも平年を上回る漁況でした（漁獲量は平年の1.2～1.4倍）。

【平成 26 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ、マアジ	282トン	178%	82%	21.7トン	178%	59%	▲
	西郷	ブリ、サバ	4,330トン	123%	138%	74.6トン	127%	123%	◎
	浦郷	サバ、マアジ、ブリ	1,757トン	110%	173%	33.2トン	155%	156%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	26トン	21%	88%	2.2トン	201%	430%	◎
	西郷	スルメイカ	0.3トン	23%	6%	61kg	59%	50%	▲
沖合 底びき網	浜田	ソウハチ	277トン	121%	95%	12.6トン	99%	94%	○
小型 底びき網	久手	ソウハチ	86トン	71%	86%	612kg	75%	90%	▲
	和江	ソウハチ	147トン	70%	80%	635kg	72%	75%	▲
定置網 (大型)	浜田	休漁							
	美保関	サンマ、ケンサキイカ、スズキ	52トン	96%	70%	607kg	80%	63%	▲
	浦郷	スルメイカ、マアジ、ソウダガツオ	25.7トン	83%	122%	1.0トン	83%	128%	◎
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ類、ブリ	7トン	86%	63%	41kg	109%	76%	▲
	大社	ブリ	16トン	156%	110%	54kg	145%	126%	◎
	西郷	メダイ、カサゴ・メバル類	3トン	79%	32%	33kg	154%	61%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。